

コンクリート新旧打ち継ぎ用バインダーエポキシ樹脂

サンユボンド[®] A-541

サンユボンドA-541は、エポキシ系のコンクリート用接着剤で、特にコンクリートの新旧打ち継ぎ用バインダーとして開発された物で、湿潤面においても硬化する特性を有しています。コンクリートの亀裂注入剤や珪砂などの充填材を加えて粘度調整を行うことにより幅広い用途にご利用いただけます。

- 用途
 - コンクリートの新旧打ち継ぎ用バインダー
 - 樹脂モルタル用バインダー
 - 自動式低圧樹脂注入工法注入材

- 特徴
 - 低粘度：低粘度で作業性に優れ、微細な亀裂、間隙でも十分に注入充填が出来ます。
 - 接着性：湿潤コンクリートに対する接着性に優れています
 - 高強度：硬化後の機械強度にすぐれています。
 - 収縮性：無溶剤タイプで100%硬化し、ほとんど収縮せず注入接着性に優れています。

■性状

項目	サンユボンドA-541		測定方法
	主剤	硬化剤	
外観	淡黄色液状	褐色液状	目視
主成分	エポキシ樹脂	変性脂肪族ホリアミン	
混合比	2	1	重量比
硬化物比重	1.1		JIS K 7113
粘度	1350 mPa・s		JIS K 6833
可使時間(分)	60		温度上昇法

■物 性

項 目	サンユボンドA-541	測定方法
圧縮降伏応力	75 N/mm ²	JIS K 7208
圧縮弾性応力	1.0 × 10 ³ N/mm ²	JIS K 7208
引張強さ	35 N/mm ²	JIS K 6911
曲げ強さ	41 N/mm ²	JIS K 7203
引張せん断接着強さ	12 N/mm ²	JIS K 6850
硬度	78 HDD	JIS K 7215

※測定条件 23℃ 養生条件 23℃/7日

- 使用方法
- 下地処理: コンクリート、モルタル、タイル等の施工面のレイタンス、ゴミ油分は除去して下さい。
 - 配合: 主剤と硬化剤を2:1の重量割合で正確に計量して十分に攪拌混合して下さい。混合、攪拌不良ですと硬化不良の原因になります。
 - 可使時間: 配合量は、可使時間内に使い切れる量で配合して下さい。雰囲気温度が高いほど、配合量が多いほど可使時間は短くなります。
 - 養生: 養生温度は原則として5℃以上で使用して下さい。養生中は振動、水分等の影響を受けないようにして下さい。

- 注意事項
- 作業場所は十分に換気し、保護具等を着用して下さい。
 - 作業服、工具に付着した樹脂は速やかに除去して下さい。
 - 体質によってはカブレることがありますので、保護具等を着用し、皮膚に付着した場合には直ちに、石鹼水で洗い流して下さい。
 - 皮膚障害、呼吸障害が見られるときは、必要に応じて医師に診察を受けて下さい。
 - 使用後は容器の蓋を締めて冷暗所に保管して下さい。



本カタログの記載事項は弊社の試験設備による特定条件下で得られた測定値の代表例です。その他取扱いについては製品安全性データシート (MSDS) をご参照下さい。

平成15年2月 現在